

## 第4回 高遠町地域協議会会議録

開催日	令和6年3月1日（金）					
開催時間	開 会	午後6時30分	閉 会	午後7時36分		
開催場所	高遠町総合福祉センター2階会議室					
委員の出欠  出席 18名 欠席 1名	番号	委員氏名	出欠	番号	委員氏名	出欠
	1	伊藤 正剛		11	下鳥 大輔	
	2	田中 みのり		12	飯島 けい子	
	3	北原 潔		13	伊藤 久美子	
	4	原 千恵		14	伊東 洋明	
	5	伊藤 岩雄		15	浦野 真吾	
	6	西村 博		16	大塚 治男	
	7	鈴木 則彦		17	春日 晴子	
	8	向山 進		18	高嶋 賢次	
	9	宇治田 彩子		19	蜷川 清人	欠
10	下島 美奈子					
署名委員	18番	高嶋 賢次	1番	伊藤 正剛		
委員以外の出席者 出席 7名	伊那市長 白鳥 孝、高遠町総合支所長 福澤 清、同総務課長 田中 智、同総務課長 補佐（総務係長） 北原 善昭、商工観光部高遠商工観光課長 山下 隆 伊那市議会議員 宮原 英幸、伊藤 のり子					
会議事項	<p>協議事項</p> <p>（1）高遠町観光資源掘り起こしに関する提案・要望書について</p> <p>報告・依頼事項</p> <p>（1）高遠城址公園さくら祭りの概要について</p> <p>（2）伊那市過疎地域持続的発展計画達成状況の評価について</p> <p>（3）伊那市協働のまちづくり交付金事業の募集について</p>					
会議提出資料	<p>協議事項</p> <p>（1）高遠町観光資源掘り起こしに関する提案・要望書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高遠町観光資源掘り起こしに関する提案・要望書</li> <li>・「高遠町観光資源の掘り起こし」提案・要望一覧表</li> </ul> <p>報告・依頼事項</p> <p>（1）高遠城址公園さくら祭りの概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024 高遠城址公園さくら祭り 開催概要</li> </ul> <p>（2）伊那市過疎地域持続的発展計画達成状況の評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊那市過疎地域持続的発展計画 達成状況について</li> </ul> <p>（3）伊那市協働のまちづくり交付金事業の募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度 伊那市協働のまちづくり交付金事業を募集します（回覧）</li> </ul>					

1 開会（午後6時30分）〔西村副会長〕

2 あいさつ

伊藤会長、白鳥市長

3 欠席委員の報告〔伊藤会長〕

19番 蛭川清人委員

4 会議録署名委員の指名〔伊藤会長〕

18番 高嶋賢次委員、1番 伊藤正剛委員

5 協議事項

(1) 高遠町観光資源掘り起こしに関する提案・要望書について〔説明者：西村委員長〕

- ・昨年2月、全委員から高遠町の観光資源になり得るものを掘り起こしていただいた。
- ・8月から小委員会（高遠町観光資源の掘り起こし検討委員会）を立ち上げ、7人の委員で4回開催した。その際、小さな意見も入れ込む形式で編集してまとめ上げた。
- ・本日の地域協議会に諮り、伊那市長と伊那市観光協会会長へ提案、要望していきたい。

〔高遠町観光資源掘り起こしに関する提案・要望書について〕

- ・少子高齢化が加速する高遠町としては、伊那市過疎地域持続的発展計画に基づき各種施策事業を進めているが、この施策の中で、「産業の振興、観光の開発」、「地域における情報化」、「地域文化の振興」等が挙げられ、時代の要請に的を得た事業であると考えます。
- ・目立った地場産業が少ない高遠町であるが、山紫水明に富んだ四季折々の景観と重厚な史跡、文化財が伝統や市民の誇りとなって継承されており、この財産を如何なく発揮する観光産業の開発を更に促進すべきである。
- ・高遠城址公園や街部のイベントを中心とした短期、通過型観光から、通年観光の開発をという方向性のもとに、高遠町全域から埋もれた観光資源を掘り起こし、既存の観光事業に絡めることで、重層的かつ発展的に醸成させ、新たな観光事業の創設に繋がるきっかけになればと思いを検討した。企画化、具現化する段階では、地元市民や諸団体との連携や協議が必要になるが、伊那市として長短期の計画策定にあたり、民意からの情報資料として活用していただきたい。

〔「高遠町観光資源掘り起こし」提案・要望一覧表〕

- ・左側には提案要望別、ジャンル別に各項目にまとめた。また、右側には、提案ごとに観光資源の形態分類として8項目（景観・天然地財、史跡・文化財、造園、グルメ・食材、伝統芸能、スポーツ行事、体験型・参加型、学習型）に分け、一番該当がある項目に◎印を付け、関連がある項目については□印を付け、複数項目付けることも可とした。
- ・提案の活用分類については、3項目（既存観光への付加・強化施策、新規観光としての開発、将来のビジョンとして提案）に分け、一番該当がある項目に◎印を付け、関連がある項目については□印を付け、複数項目付けることも可とした。
- ・一番右側には、5段階評価により、4項目（実現の可能性、効果の見込み、開発・準備・建設等の資金予測、環境・防災・防犯への配慮の必要性）について評価した。
- ・左側の項目については、大きく5つに分類（1 寺社・石仏等の文化財めぐり、2 「日本で最も美しい村」の維持継続と発展、3 滞在型観光の開発と推進、4 観光スポットの追加、醸成、開発でのPRの促進、5 既存の施設の醸成拡大及び自然資源からの新規開発）した。1つとしては観光資源にならなくても、全部繋げることでツアーにすれば見どころとなると考えている。
- ・1 寺社・石仏等の文化財めぐりの項目については、現存する石仏の資料やパンフレットは城下町を意識したものであるが、山村部に点在する史跡、文化財、寺社、石仏を写真と説明文で紹介する資料や各見学コースを紹介するガイドブック的なPR版を作成発刊したり、Web発信

することを要望する。このPR版には、高遠町全域からのスポット景観写真や交通手段、宿泊プラン情報なども含め、国内交流観光、インバウンドの双方を意識し、精力的なWeb発信を要望する。

具体的な対象地域としては、五郎姫神社（栗田）、貴船神社（荒町）、貴船神社より北三叉路の観音菩薩と道しるべ（荒町）、八幡神社の馬頭観音（台殿）、伊那谷最古の庚申塔（北原）、法華堂跡の夫婦像（北原）、瑠璃殿の延命地藏菩薩（水上）、諏訪神社の石仏群（御堂垣外）、金沢（杖突）街道の江戸と高遠を結ぶ御堂垣外宿本陣跡（御堂垣外）、藤澤城址・蛇山（御堂垣外）の10地域を挙げた。

- ・ 2 「日本で最も美しい村」の維持継続と発展の項目について、現看板は平成30年から平成31年に、「日本で最も美しい村」推進委員会が、ふるさと創生活動支援金事業として、統一デザインで設置したものであるが、町内名や集落名などのみで構成されており、「日本で最も美しい村」の意義や経過があまり知られていない。そのため、現状に加えて地名の由来や美しさを絡めた地域の特徴を説明した表示を望む。
- ・ 3 滞在型観光の開発と推進の項目については、空き家を改造したゲストハウスを使い、広く国内およびインバウンドを意識した滞在型観光のモデル構築を開発する。ゲストハウスへ改造する手続きの援助、助成体制の創設、市民をはじめ移住希望者も含めた経営管理者の募集や育成について、市の観光事業を促進する課題としての取り組みを要望する。ゲストハウスは、経営管理者の不在（近傍監視で自炊系）／在住（民宿系）の管理形態や、古民家流、欧米流、山小屋流、カフェ併設流などの趣きには拘らず、適地適趣での企画が良いと思われる。また、滞在型の期間定義を設定し、分類別に格安料金を定めてPRすることも有効手段となり、滞在の例として祭りイベントを前後に挟んだ観光コースの事例や季節に応じた山菜採り、農作業手伝い（植栽、収穫）山林オーナー等々と組み合わせた活用も考えられる。
- ・ 4 観光スポットの追加、醸成、開発でのPRの促進の項目については、高遠城址公園を中心とした景勝地の写真に加え、高遠町全域の景観スポットを掘り起こし、仮称「景観スポット高遠の四季」のような写真集を作成して発刊、Web発信し、広報していくことを要望する。新たな景観スポットは、従来のものを整備し、観光地としての開発と様々な企画を要するが、長短期の総合プランとして実現化されることを希望する。

具体的な対象地域としては、東高遠二番組の最東上（二番郭内）、月蔵山東斜面の山桜（東高遠）、三義の谷の散策、夏秋の小豆坂と林道三義藤沢線（三義）、杖突峠と杖突街道（藤沢）、守屋山（藤沢）、千代田湖（藤沢）、三峰川左岸の堤防沿線（上山田・下山田）、白山社奥宮付近の桜並木（勝間）、林道長谷高遠線（勝間・小原・下山田・上山田）の10地域を挙げた。

- ・ 5 既存の施設の醸成拡大及び自然資源からの新規開発の項目については、具体的な対象地域として、四日市場グリーンパークの利用促進（四日市場）、元釣り堀のキャンプ場化（荊口）、農作業や山菜取りの短期体験（三義）、さくらホテル周辺（勝間）、高遠ダム湖の釣り（勝間）、金井沢川沿線（上山田）の6地域を挙げた。

〔質疑応答〕

（委員）先日開催された高遠町地域フューチャーセッション（伊那市の未来について、高遠の地域を中心に考えるワークショップ）に参加したが、現在の観光は、サイトシーンからライフシーン（暮らしをめぐる）ツーリズムに移行しているようである。実際に機動できる人材発掘又はデザイン化できるコンサルタントへの委託なども含めて提案したらどうか。

（西村委員長）高遠町地域フューチャーセッションの事業者は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社であり、専門的知識を有し、デザイン化するための手法を持っている。

また、この業者は、伊那市から受託されており、観光協会も関係しているはずである。高遠町地域協議会から観光資源掘り起こしの提案、要望があれば、それもマッチングした上で伊那市に報告すると思われる。委員からのご提案について、提案要望書に一文付け加えるか検討するが、言葉としては添えたいと考える。

(伊藤会長) 高遠町観光資源掘り起こしに関する提案・要望書にご承認をいただけるか。

～異議なし～

(伊藤会長) 伊那市長及び伊那市観光協会会長宛に提案、要望する。

## 6 報告・依頼事項

### (1) 高遠城址公園さくら祭りの概要について

- ・今年の開花は、3月28日と予想されている。3月の開花が常態化されている。
- ・3月23日(土)に、公園開き式と安全祈願祭を行う。祭り期間や開園時間は例年どおりである。
- ・交通規制は、4月1日(月)から4月29日(月)まで、午前6時から午後9時まで実施する。
- ・シャトルバスについては、中学校駐車場から城址公園ループ橋上まで運行する。
- ・入園料については、大人(個人)が600円、子供(個人)が300円、大人(団体)が500円、子供(団体)が250円という新料金体系で運用する。
- ・イベントとしては、池上秀畝生誕150年展を信州高遠美術館と高遠町歴史博物館で開催する。その他、旧馬島家住宅でのひな人形展、高遠閣での「日本で最も美しい村」高遠写真展、建福寺石仏と高遠ダム湖のライトアップを実施する。
- ・2024年特別企画として、「花結い～サクラサクミライ～」を開催する。願い事や大切な人への応援メッセージ、能登半島地震で被災された方々への応援や復興への思いを短冊に書いて結い、紐で結ぶイベントである。

### (2) 伊那市過疎地域持続的発展計画達成状況の評価について

- ・伊那市過疎地域持続的発展計画の概要については、旧高遠町及び旧長谷村の区域において、令和3年度から令和7年度までの5年間、国が対象経費の最大7割を負担してくれる過疎対策事業債を活用し、移住・定住・地域間交流の促進、産業の振興や観光の開発など資料に記載されている事業を実施できるというものである。
- ・令和4年度実績について、評価方法として、国では人口推移の目標を設定し、評価することとしており、前年度末時点の人口(実績値)を基に現状を地域協議会にご報告するものである。
- ・実績値については、高遠町地区における地区別人口のR4年度実績値(令和5年4月1日時点)は5,215人であったので、R3年度実績値(令和4年4月1日時点)の5,322人から2.0%減少している。同じ減少率(2.0%)で推移していった場合の令和7年度末人口は4,906人となるので、過疎計画において設定している目標値の4,810人を上回る。このままの減少率を維持すれば、目標が達成できる見込みであるため、継続して計画に基づいた過疎対策に取り組んでいきたい。
- ・過疎対策事業実績に記載されている金額は、過疎地域全体(高遠町、長谷)に係る金額であるが、記載している主な事業は高遠町地区のものとなる。

### (3) 伊那市協働のまちづくり交付金事業の募集について

- ・令和6年度伊那市協働のまちづくり交付金事業の募集期間については、3月15日(金)から4月5日(金)までとする。
- ・対象団体は、自治組織(区・町内会等)、地域づくり団体やグループなどであり、地域の課題解決や地域振興のための実践的な活動に対して支援するものである。
- ・交付金の規模は、昨年度と同額(約1,480千円)程度になる見込みであるが、令和6年度予算成立前であるので、交付金や制度内容の一部が変更になる場合がある。
- ・対象事業、対象外事業、対象経費、事業充当率(補助率)については、例年どおりである。

- ・事業実施期間は、令和6年度の交付決定日（4月予定）から令和7年3月31日までである。
- ・令和4年度の対象事業としては、高遠くらしごと研究所の「もく木プロジェクト」、高遠在来とうがらし保存会の「高遠在来とうがらしによる地域活性化事業」、高遠そば博物館プロジェクトの「高遠そば博物館を起点とした地域活性化事業」であり、総額1,483千円を交付した。

## 7 その他

(委員) 市長あいさつの中で、ほりでいドームに大型遊具を設置するという話があったが、場所を十分に検討したのか。経済効果を考えると、高遠スポーツ公園の方が良いのではないか。また、さくらホテルの改修について、稼働率があまり芳しくない中で、ホテル内の施設改修よりも、観光資源掘り起こしの提案にもあったように、アクティブな方向に切り替えていくのであれば、それを目指した改修（温泉、トレッキング、Eバイクなど）をした方が有意義ではないか。

(伊藤会長) 大型遊具の場所については伊那市と検討したが、高遠スポーツ公園は土地が狭いこと、駐車場が確保できないということで断念した。他の場所も検討したが、ほりでいドームが適地であるという結論になった。

(議員) 白山トンネルの照明について、昨年死亡事故があり、直後に照明の改修を要望したが実現されていない。先日、高遠町地区以外の市民から、夏の陽射しの強い時など、トンネル内に入ると目が眩らんで危険であるので改修してほしいとの要望があった。以前から要望しているが改善されないで、高遠町地域協議会から要望していただくよう検討してもらえないか。

(伊藤会長) 白山トンネルの照明改修について、高遠町地域協議会から要望してよろしいか。  
～異議なし～

(委員) お花見期間中のシャトルバスについて、高遠中学校からのみになっているが、高遠小学校からも運行していただきたい。高遠城址公園まで一番遠い駐車場であるのにシャトルバスの運行がなく、観光客からの苦情も多い。是非来年度は検討してもらいたい。

(高遠商工観光課長) 高遠小学校の利用者については、循環バスの停留所をご利用くださいと案内しているが、周知が不十分であるかもしれないので、検討していきたい。

## 8 閉会（午後7時36分）〔西村副会長〕